

日本建築学会創立 120 周年記念事業
日本建築学会・こども環境学会共催シンポジウム
「子どもの成育環境を考える - 新しい視点 - 」

主 催：日本建築学会・こども環境学会

日 時：2006 年 10 月 14 日（土）10:00～17:30

場 所：建築会館ホール・会議室（東京都港区芝 5-26-20）

主 旨：わが国は、戦後の復興から一貫して環境の経済的効率性を最重要視してきた。現在の子どもを取りまく環境は大人の価値観の集積といえる。家庭環境は、大家族から核家族化へとすすみ、単身赴任、長時間労働、価値の金銭化などの傾向がみられた。1971 年から出生率の低下がはじまり、更に 1980 年代後半のバブル期における女性の社会進出により、その傾向が一層すすみ、2005 年には戦後初めての人口減少となった。家庭力の軽視や高齢化による地域コミュニティの崩壊は子育てを阻む環境となった。子ども達に関わる事件や事故、子ども自身が起こす犯罪も多発し、凶悪化の傾向が顕著となった。

建築・都市の分野も次世代の子ども達が育ち人間形成を行うために、空間や環境がどのようにあるべきかと言った視点で、住宅や地域のあり方を提案をすることはおろか、現実の社会の動きに有効な警鐘を鳴らすこともできなかった。

また、地球規模での環境破壊による自然環境の汚染。公共的施設や社会的に開放された空間における、管理、運営面での責任論などから、さまざまな環境での体験を積むことが困難な状況、すなわち子ども達の居場所のない状況をつくってしまった。大人社会は、子ども達から、開放された変化のある豊かな環境に親しむ機会をうばい、閉鎖性の強い内部性能重視の住宅空間に閉じ込め、生活空間からも子育てを阻む環境をつくってきた。

今、社会は、子どもの成育環境を取り戻すための修復方法を求めている。広く学際的な専門家や子育て中の人々に呼びかけ、ワークショップ形式も取り入れ、立体的な話し合いを通して行うことで、新しい視点を求めていきたい。

プログラム：

開催挨拶・運営説明

時間：10:00～10:50

挨拶：北 泰幸（日本建築学会理事・竹中工務店）

分科会

時間：11:00～14:30（昼食時間を含む）

定員：各分科会 30 名（申込制、応募多数の場合抽選）

分科会1：家庭環境と子育て支援施設

就学前の乳幼児の主な成育環境である家庭および幼稚園・保育園や子育て支援施設などを中心に、それぞれの役割や施設環境のあり方について討論を通して新しい視点、方向性を探る。

コーディネーター：仲綾子（厚生労働省）

サブ・コーディネーター：山口邦子（スターツ総合研究所）

話題提供者：加茂紀和子（みかんぐみ）

渡辺英則（ゆうゆうのもり幼保園）

丹羽祥子（育児文化研究所）

分科会2：学校・児童館と地域環境

小学校児童の主な成育環境である学校および児童館などの地域施設や遊び場となる公園などの地域環境を中心に、それぞれの役割や施設環境のあり方について討論を通して新しい視点、方向性を探る。

コーディネーター：中山豊（こども環境学会）

サブ・コーディネーター：伊藤泰彦（伊藤泰彦建築研究室）

話題提供者：上平泰博（品川区水神児童センター）

勝田映子（筑波大学附属小学校教諭）

玉田雅己（NPOパイリンガルろう教育センター龍の子学園）

中村 勉（中村勉総合計画事務所、ものづくり大学）

分科会3：青少年の居場所としての都市環境

中学生・高校生の主な成育環境である学校および地域施設や都市的な商業施設などを中心に、それぞれの役割や施設環境のあり方について討論を通して新しい視点、方向性を探る。

コーディネーター：神谷明宏（聖徳大学）

サブ・コーディネーター：西河哲也（NPOひとまちCDC）

話題提供者：木下 勇（千葉大学）

定行まり子（日本女子大学）

鈴木高弘（中央工学校アクト情報ビジネス専門学校）

分科会報告

時間：14:30～15:30

定員：150名（当日先着順）

・各分科会のコーディネーターより分科会の報告

報告者：仲 綾子（前掲）……家庭環境と子育て支援施設

中山 豊（前掲）……学校・児童館と地域環境

神谷明宏（前掲）……青少年の居場所としての都市環境

パネルディスカッション

時間：15:30～17:20

定員：150名（当日先着順）

コーディネーター：村上美奈子（計画工房）

パネリスト：織田正昭（東京大学）……「子ども」成長発達の医学・保健学的側面

木下 勇（前掲）……「都市」子どもにふさわしい施設のありかた

鈴木雄司（厚生労働省）……社会的側面から

福岡孝純（東京農業大学）……「スポーツ」と子ども

閉会挨拶（まとめ）

時間：17:20～17:30

仙田 満（こども環境学会会長・東京工業大学）

資料代：実費（500円程度）

申込方法：往復ハガキで、「氏名、所属、住所、TEL、E-mail、参加希望分科会」を明記のうえ、下記あてに9月29日（金）までにお申し込みください。

日本建築学会事務局 鎌田

〒108-8414 東京都港区芝5 - 16 - 20

TEL 03-3456-2056 FAX 03-3456-2058

E-mail kamata@ajj.or.jp